

# 地域包括支援センター体制の 変更について

地域包括支援センターは、高齢者が住み慣れた地域で尊厳ある生活が続けられるよう、心身の健康維持、保健・福祉・医療の向上など、生活の安定のために必要なあらゆる相談・支援を包括的かつ継続的に行う中核機関として、地域住民に対する個別的なサービスの調整や、地域ネットワークの構築・再生、また、地域住民のさまざまなニーズに応える高齢者福祉の拠点となることを目的とした機関です。

平成20年3月の1市2町合併後も旧市町に設置されていた、それぞれの地域包括支援センターをそのままの体制で運営してきましたが、業務の一元化、高効率化によるサービス向上のために3つのセンターを統合し、適正な職員配置を行うことが必要であると考えています。

この統合を2段階にわけて行うこととし、第1段階として平成21年4月から「美祢市美祢地域包括支援センター」と「美祢市美東地域包括支援センター」を統合し、「美祢市地域包括支援センター」とすることとなりました。

設置場所は、市役所本庁1階の高齢障害課内とし、同課内に美祢地域の相談窓口（8時30分～17時15分）、美東総合支所内に美東地域の相談窓口（9時～16時30分）を設置することとしています。

美祢市美祢地域  
包括支援センター  
美祢地域を担当  
☎0837⑤0138

美祢市美東地域  
包括支援センター  
美東地域を担当  
☎08396②1234

美祢市秋芳地域  
包括支援センター  
秋芳地域を担当  
☎0837⑥45111

平成21年4月から

美祢市地域包括支援センター  
美祢地域、美東地域を担当

美祢地域相談窓口  
(市高齢障害課内)  
☎0837⑤0138

美東地域相談窓口  
(美東総合支所内)  
☎08396②1234※

美祢市秋芳地域  
包括支援センター  
秋芳地域を担当  
☎0837⑥45111

※美東地域相談窓口の電話は、電話移転工事の関係により4月2日午後から利用可能となります。  
4月1日から2日の午前中までは美祢地域相談窓口にてお受けします。

これまで以上のサービス向上に努めてまいりますので、皆様のご理解、ご協力をお願いします。  
なお、ご不明な点などがありましたら、下記までお問い合わせください。

問合せ先 市高齢障害課高齢福祉係 (☎0837⑤1132)

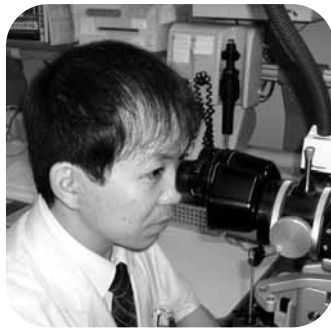
# 病院だより ⑧

## 医師に聴く！—眼科編—

今回は、眼科医長の原田大輔（はらだだいすけ）医師に、お伺いします。原田先生は、平成19年9月より待望の常勤の眼科医師として赴任されて以来、代替診察が難しい眼科であるため、土日や外来診察の時間外についても積極的に対応して頂いています。事務部の井上主幹がその辺りを質問しました。

美祢市立美東病院  
眼科医長

原田大輔



井上 山口大学医学部では主に、何を研究されておりましたか。また、原田先生は当院に赴任されて間もなく、「眼科専門医」免許を取得されたと同じでしたが、この「専門医」の意味と、先生の眼科医としての診療範囲や位置づけ、患者様に向う心構えなどがどのように変わったのか、教えて

ください。

原田 山口大学では基礎研究は行なっておらず、専ら臨床現場で幅広くさまざまな眼疾患の患者様を、眼科指導医の先生の御指導のもとで、治療を通じて学習させていただきました。特に美東病院に赴任する前の2年間は、重症な眼の感染症の入院患者様を多く担当させていただきました。

「眼科専門医」は「財団法人日本眼科学会」が設立した制度で、その制度規則の第1章第1条には、「本制度は、眼科学の進歩に応じて、眼科医の知識と医療技術を高め、すぐれた眼科医の養成と生涯にわたる研さんを図ることにより、国民医療に貢献することを目的とする」とあります。すなわち、以上のような目的を達成するために日本眼科学

会の設立した基準（眼科医としての経験および試験）を満たした眼科医が「眼科専門医」となります。

眼科専門医として、日本眼科学会に認定されましたので、それにふさわしい眼科医療、連携医療を提供することを義務として日々の診療に励みたいと思います。

井上 当院に赴任されて、約1年半が経過し、先生の診察を患者様も認知され、先生も個々の患者様とのコミュニケーションが取れていると感じていますが、その辺はいかがですか。

原田 それは確かに感じていますが、この1年半で徐々に患者様と顔見知りになり、なじむことができつつあるのではないかと思います。病棟を歩いていると、当科に通院加療中であった患者様がふいに「今、整形外科に入院しているんですよ」と声をかけて挨拶してくださったりすることがあったりして、とても嬉しく思うことがありました。

井上 当院の眼科を受診される患者様の多くは、「白内障」「緑内障」「ドライ・アイ」などの病気が多いと思われ、その他に当院で多いのは、何ですか。

原田 当院の患者様で特に多いのはやはり「白内障」「緑内障」の患者様ですが、その他では高血圧の人にみられる「網膜静脈分枝閉塞症」（いわゆる「眼底出血」）や糖尿病網膜症、「麦粒腫」（いわゆる「めいぼ」）、急性涙囊炎、「角膜異物、結膜異物」、「睫毛乱生」いわゆる「逆まつげ」などが当院ではしばしばみられます。また、当院の特色として、内科では肝炎に対するインターフェロンによる治療を行っています。また、まれに眼に「インターフェロン網膜症」を生じることがありますので、内科医師と連携してインターフェロン治療中の患者様の眼底の診察を行っております。なお、「インターフェロン網膜症」は発見が遅れない限り恐い合併症ではありませんので眼科を定期受診していただければ大丈夫です。

井上 以前、土曜日目のゴミが取れないという患者様へ、外出先から駆けつけ、処置された事がありました。常勤医師の存在を感じた1コマでした。先生の無理のない範囲で、今後もうこういった対応がして頂けるかどうか、お答えください。

原田 「眼が痛い、とてもこるこるする」、「急に見えなくなった」ということがあれば何時でもご連絡ください。外出中の時は少しお待ちですが、ご連絡をいただければ可能な限り対応したいと思います。井上主幹の言われる通り、眼科常勤医師として赴任させていたでいる以上、地域の皆さんに存在感、安心感を感じていただける存在になりたいと思っております。

井上 平成17年度以来の待望の常勤眼科医師である原田先生にはあまり無理をせず、「ゆつくり」と申しあげたいところですが、先生の意気がそれを許さないのではと、逆に心配です。本日は、当企画にお付き合ひ頂き、ありがとうございました。

原田 こちらこそ、この度は大変貴重な機会をいただきました。今後美東病院で患者様の治療を通じて、逆に患者様からさまざまなことを教えていただき、今後の糧といたしたいと思います。

問合せ先 美祢市立美東病院  
（083396）20515